

# 初期臨床研修 Q&A

Q	A
<b>済生会とは何ですか。</b>	<p>秋篠宮皇嗣殿下を総裁とし、日本の医療・保健・福祉に貢献する我が国最大の社会福祉法人です。明治44（1911）年に明治天皇が済生勅語（恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるようにとのお言葉）に添えてお手元金を下賜されました。</p> <p>時の総理大臣 桂太郎が、そのご下賜金を基金として日本中の官民から寄付金を募り創立しました。</p> <p>2021年現在、全国40都道府県に81の病院、17の診療所を含む399の施設があります。</p>
<b>大分県済生会日田病院の特徴を教えてください。</b>	<p>当院は、大分県西部医療圏（日田市・九重町・玖珠町）唯一の地域医療支援病院です。</p> <p>また、西部医療圏の救急車搬送件数のおよそ3割を受入れている共同利用型病院（24時間365日 2次救急への対応）をはじめ、開放型病院、第2種感染症指定医療機関、へき地医療支援病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院等、地域医療の最前線の病院としての役割を担っています。</p>
<b>どのような症例が多いですか。</b>	<p>大学病院と違い、すべての診療科を標榜してはいませんが、急性期医療を中心に内科系・外科系ともに幅広い症例に対応しています。</p> <p>より高度な医療の提供が必要な場合は、久留米大学病院等と連携をとり対応しています。</p> <p>農作業・林業における外傷など、地方特有の症例があるのも特徴です。</p>
<b>臨床研修について、大学病院との違いはありますか。</b>	<p>地域の病院で研修するメリットは2つあります。</p> <p>1つ目は、研修医の人数が少人数のため、マンツーマンで指導医から細やかな指導を受けることができ、幅広い症例を経験することができる点です。</p> <p>2つ目は大学病院と比較して、研修スケジュールについて研修医の希望が比較的通りやすく、ワークライフバランスを考慮した柔軟な研修ができる点です。</p> <p>大学病院と比べて、ともに切磋琢磨する同期や年齢の近い先輩は少ないかもしれませんが、幅広い年齢層の先生方やコメディカル職員と協働できます。</p>

Q	A
<p><b>給与・賞与・福利厚生について教えてください。</b></p>	<p>基本給は274,500円（1年目）、賞与は年2回支給（6月、12月）です。</p> <p>その他、調整手当、扶養手当、住居手当（最大43,000円）、通勤手当、超過勤務手当、宿日直手当（1回あたり45,000円）があります。</p> <p>学術学会参加費・旅費は国内については全額病院負担です（国外については限度あり）。</p> <p>福利厚生として、病院から徒歩1分の所にある託児所が利用できます。</p>
<p><b>当直対応について教えてください。</b></p>	<p>副直として内科系医師1名、外科系医師1名とともに担当します。</p> <p>救急科での研修実施後、月3回を目安として行いますが、具体的な日程については指導医と相談して決めます。</p>
<p><b>他施設への出向はありますか。</b></p>	<p>産婦人科、精神科、麻酔科については、近郊の協力施設や久留米大学病院への出向形式で実施します。</p> <p>上記診療科以外については、医師臨床研修ガイドラインに規定されている経験すべき症例・疾病・病態等は当院内の研修でカバーできます。</p>
<p><b>詳しく話を聞きたい場合はどうしたらいいですか。</b></p>	<p>まずは、下記宛先までメールもしくはお電話をいただければ幸いです。</p> <p>メールでご連絡いただいた場合は、担当から折り返しご連絡させていただきます。</p> <p>E-mail : s-kondo@saiseikai.hita.oita.jp  電話 : 0973-24-1100  FAX : 0973-22-1269</p>